

FBF2024ジャパンプース速報	1
世界のブックデザイン2023-24	1
未来の図書館研究所 図書館シンポジウム	2
2025年度出版物「年間発売日カレンダー」	2

FBF2024ジャパンプース 速報 盛況裡に終了！

（一社）日本書籍出版協会（＝書協）が主催する、ドイツ・フランクフルトブックフェア（FBF）2024（10月16日～20日）のジャパンプースが盛況のうちに終了した。

■FBF2024・ジャパンプース概要

今年のジャパンプースには、31者が出展・参加し、総面積は224㎡となった（昨年：172㎡）。ブース内には、3076点の書籍が商談用に展示されたほか、文化庁のグローバル展開事業として著作権輸出プロモーションを目的としたマンガ4作品の壁面展示を行った。ジャパンプース事務局が設置した入場カウンターでは5日間通して延べ1万人以上がジャパンプースの入場を記録。日本の書籍の海外輸出に向けた著作権取引が会期中積極的に行われた（商談実績は集計中）。

海外の商談でジャパンプースに来場した著作権担当者からは、「どのブースよりも展示書籍が充実しており、日本で著作権取引ができる最新情報が得られるのが



うれしい。今年も積極的な取引をしたい」「毎年ジャパンプースに行くのを楽しみにしている。昨年はマンガの取引ができたが、今年はラノベや小説を探しに来た」「日本の絵本は絵柄だけではなく、本としてのクオリティが高く魅力的」など評価され、様々な目的で日本の著作権の買い付けに訪れる担当者が多かった。

また、今年は著者グループの出展もあり、週末の一般来場者



に向けて、イラストの似顔絵サイン会、筆ペン・カリグラフィーワークショップなども行われ、最終日の閉会時刻まで多くの来場者でにぎわった。

■ジャパンプース出展社構成

単独ブース（面積順／17社）：講談社、小学館、トーハン、集英社、マンガコーナー（8社）、オーバーラップ、Gakken、

KADOKAWA、TOブックス、ポプラ社

共同ブース（13社）：Arttrav、インプレスグループ、オーム社、

Goen Book Project、JMA・アソシエイツ、日本能率協会マネジメ
ントセンター、ひかりのくに、ホビージャパン、マガジンハウス、三修社、
世界文化ホールディングス、中央経済社ホールディングス、麗人社
壁面展示コーナー：文化庁

■造本装幀コンクール展示

日本印刷産業連合会・書協が主催する「造本装幀コン
クール」の昨年の受賞作

品がドイツ・エディトリアル財団の「世界で最も
美しい本コンクール」
ブース内で展示され
た。ブースには、同財



団が主催する今年の「世界で最も美しい本コンクール」に出品し
た約30か国からの作品と受賞作品が展示された。

世界のブックデザイン2023-24 造本装幀コンクール57回展

印刷博物館（東京・文京区）は、12月14日（土）から
明年3月23日（日）まで、P&Pギャラリーにて「世界のブックデ
ザイン2023-24」を開催する。

今年2月に選ばれたドイツ・ライプツィヒの「世界で最も美しい
本コンクール 2024」の受賞作品や日本の「第57回 造本装
幀コンクール」（主催：日本書籍出版協会、日本印刷産業
連合会）の受賞作品をはじめ、各国コンクールの入賞作品の
書籍が展示される。また展示にあわせ、トークショーなどのイベ
ントも開催予定（詳細は出版広報12月号にて掲載予定）。
会場：印刷博物館 P&Pギャラリー（文京区水道1-3-3）
会期：12月14日（土）～2025年3月23日（日）
開館時間：午前10時～午後6時（月曜休館） 無料
詳細：<https://www.printing-museum.org/>

（問合せ 印刷博物館 Tel 03-5840-2300）

未来の図書館研究所

図書館のシンポジウム開催

未来の図書館 研究所では、11/15（金）に第9回シンポジウム「図書館と居場所」を開催する。近年、地域の人と人とのつながりが希薄化するなかで、家庭でも学校や勤め先でもない場所、機能や合理性だけでなく人間関係を求める声が強まっているなかで、図書館は何ができるか、地域のなかでの図書館の役割を考えるシンポジウムとなっている。

日時：11月15日（金）13:30～16:30

会場：出版クラブホール（東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル3F）+ オンライン

参加費：無料

定員：会場60名（オンラインは定員数制限なし）

講演者・パネリスト：

青山鉄兵氏（文教大学人間科学部准教授）

森田秀之氏（㈱マナビノタネ代表取締役、㈱コードマーク

御代田、㈱コードマーク都城 代表取締役）

コーディネーター：戸田あきら（未来の図書館 研究所所長）

詳細・申込先：<https://www.miraitosyokan.jp/wp/20240924/>

そのほか、同研究所では、図書館にまつわるシンポジウム、ワークショップの開催、動向レポートを報告しており、過去のシンポジウムの情報も同研究所のサイトにて公開している。

詳細：https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/

（問合せ 未来の図書館研究所 TEL 03-6673-7287）

2025年度出版物「年間発売日カレンダー」

日本出版取次協会（TEL 03-3291-6763）
日本雑誌協会（TEL 03-3291-0775）

（一社）日本出版取次協会と（一社）日本雑誌協会が、2025年度出版物「年間発売日カレンダー」を発表。「週5日以内稼働」を継続することを柱に、年度はじめの売上面を考慮し、繁忙期に当たる4月の第2週土曜日は稼働日とし、年間稼働日253日間。2025年度「年間発売日カレンダー」は以下の通り。

ゴールデンウィーク	4/29(火)、5/3(土)、5/5(月)、5/6(火) ※カレンダー通り												
夏期統一休暇	8/13(水)付～8/15(金)付												
年末年始	年内最終	雑誌 12/25(木)午前搬入 12/27(土)付 書籍 12/25(木)午前搬入 12/27(土)付											
	年始	雑誌 12/26(金)午前搬入 1/5(月)付 全国一斉 12/27(土)午前搬入 1/6(火)付 以後平常 書籍 12/26(金)午前搬入 1/5(月)付 全国一斉 1/5(月)午前搬入 1/7(水)付 以後平常											
休配日 年36回 (土曜日付)	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	日	5	17	7	5	2	6	4	1	6	10	7	7
		19	24	14	12	9	13	11	15	13	24	21	14
		26	31	21	19	23		25	22	20	31		28
				28		30							

出 版 統 計

書 籍	9月期	前年同月比	1～9月期	前年同期比	書 籍 出 回 り	9月期	前年同期比	1～9月期	前年同期比
新 刊 点 数	5,718点	4.3	48,790点	0.8	推 定 出 回 部 数	6,521万冊	▲ 11.1	52,197万冊	▲ 5.6
新刊推定発行部数	1,932万冊	▲ 8.8	17,614万冊	▲ 7.3	推 定 出 回 金 額	856億円	▲ 9.5	6,820億円	▲ 4.3
新刊平均価格	1,352円	1.0	1,328円	1.0	推定出回平均価格	1,312円	1.8	1,307円	1.4
新刊推定発行金額	261億円	▲ 7.9	2,339億円	▲ 6.3	実 売 部 数	9月期	前年同期比	1～9月期	前年同期比
月 刊 誌	9月期	前年同月比	1～9月期	前年同期比	書 籍	4,245万冊	▲ 13.1	33,468万冊	▲ 4.8
発 行 銘 柄 数	1,702点	▲ 3.9	2,240点	▲ 2.0	月 刊 誌	3,972万冊	▲ 14.7	33,475万冊	▲ 11.2
推 定 発 行 部 数	6,598万冊	▲ 11.3	58,111万冊	▲ 9.3	週 刊 誌	1,164万冊	▲ 14.0	10,888万冊	▲ 14.2
平 均 価 格	796円	4.2	774円	4.7	実 売 金 額	9月期	前年同期比	1～9月期	前年同期比
推 定 発 行 金 額	525億円	▲ 7.7	4,495億円	▲ 5.1	書 籍	591億円	▲ 11.6	4,549億円	▲ 3.6
週 刊 誌	9月期	前年同月比	1～9月期	前年同期比	月 刊 誌	314億円	▲ 11.2	2,570億円	▲ 7.1
発 行 銘 柄 数	71点	▲ 2.7	77点	▲ 2.5	週 刊 誌	49億円	▲ 12.4	471億円	▲ 10.5
推 定 発 行 部 数	2,304万冊	▲ 7.4	20,853万冊	▲ 9.5	実 売 金 額 合 計	954億円	▲ 11.5	7,590億円	▲ 5.2
平 均 価 格	443円	2.5	447円	4.7					
推 定 発 行 金 額	102億円	▲ 5.1	931億円	▲ 5.3					

- 銘 柄 数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部 数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金 額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

■電子出版制作・流通協議会

「オンデマンド出版流通」セミナー (第1回)

日時：12月2日 (月) 15:00～16:30

会場：出版クラブビル+オンライン

内容：基調講演 (トーハン書籍部部長櫻井秀則氏)、
トーハン及び出版社を交えたシンポジウム。

詳細・申込み：11月7日以降、[電流協サイト](http://www.densho.or.jp)にて公表
(問合せ 電流協 TEL 03-6380-8207)

■謝恩価格本フェア

期間：10月24日 (木) 12:00～12月25日 (水) 12:00

内容：読者謝恩のため、出版社123社約5,600点のアイテムを本体価格の45%割引でインターネット販売。

販売サイト：<https://books.rakuten.co.jp/event/book/bargain/shaon/>
(問合せ 書協 ✉shaon@jbpa.or.jp)

■JBBY50周年記念国際シンポジウム

「今、子どもの本は世界とどうかかわるのか」

日時：11月16日 (土) 14:00～16:30

会場：出版クラブビル

内容・講師：岩瀬成子氏、長倉洋海氏、さくまゆみこ氏

詳細：<https://jbby.org/news/domes-news/post-21327>

(問合せ JBBY TEL 03-6273-7703)

編集後記

小学生の子供の国語のため、できるだけ「主語」「述語」「接続詞」を意識して話すようにしていますが、そのなんと難しいことか。5W1Hなど程遠く、親しい間柄であればあるほど、「目的語」「述語」で話していることに気が付きました(なんでしたら、目的語が抜けている時すらある!)。会話の齟齬などは、こうした丁寧な話し方を省略するところから始まるのかと、子どもから大事なことを教わりました。(あ)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL : 03-6273-7061

FAX : 03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>